

ハローフレンド通信別冊 HellofromFukuroi Vol.34

中華圏や 台湾の しゅんせつ 春節



中華圏の一年間で最も盛大にお祝いするお正月『春節』をご紹介します！

『春節』は、日本で旧正月と呼ばれる日に新年のお祝いをします。

今年の春節は2月1日で、大晦日の1月31日から2月6日までが春節連休です。

この時期は毎年、ほとんどのお店がお休みになります。

春節の準備は2週間ほど前から始まります。

この時期は春節に欠かせないありとあらゆる飾りや食品などを販売する露店が立ち並びます。

家の入り口には「倒福」などのおめでたい飾りつけをします。「倒福」がなぜ「福」の文字を倒しているかというと、「福運が到る（福を家に迎える）」と同じ音だからです。



年越しには、厄を祓い、神を迎えるため、爆竹を盛大に鳴らし花火を打ち上げます。

新年には、新しい服や赤い下着・靴下を身に着ける方が多いです。

初詣は年が明けてすぐに初詣に行くのではなく、明るい時間にお寺「廟（ミャオ）」にお参りし、縁日を楽しみます。

台湾では春節の前の大晦日から、日本の年越しそばやおせち料理に当たる「年菜」を食べます。

「年菜」はおせち料理と同じように、縁起を担ぐ食べものです。「年菜」を少しご紹介しますね！

大根餅：大根は台湾語で「菜頭」といい、同じ音の「彩頭」、つまり「一年の始まりに良い運氣があり、幸先が良い」

カラスミ：日本の数の子と同じ意味で「子孫繁栄」

パイナップル：台湾語の発音が「オンライ」といい、「旺來（繁栄）」と同じことから

他にも、**肉団子**（家族円満）、**水餃子**（昔のお金の形に似ていることから「お金持ちになる」）、**魚**（「余る」と音が同じなので「お金が余る、余裕のある生活」）など…



そして、春節の締めくくりの「**元宵節**」（旧暦1月15日）にあわせて、台湾各地できらびやかな「ランタンフェスティバル」が行われます。

新北市の「平溪天燈節」や、毎年開催地が異なる「台湾ランタンフェスティバル」が有名です。

春節と日本のお正月は似ているところと違うところがあって、とても興味深いですね！

今年の春節には、手軽なところから春節気分を味わってみてはいかがでしょうか？

